

市内のできごとを写真入りでお知らせします まちのできごと

日本ハムファイターズの金子選手が野球教室 市内少年野球 18 チーム 54 人の選手が参加

12月2日(日)我孫子市少年野球場で、湖北中学校出身のプロ野球選手で、北海道日本ハムファイターズで活躍する金子誠選手による少年野球教室が行われました。

市内少年野球18チーム54人の選手が参加し、走塁や守備・打撃の指導を受けました。金子選手は「子ども達の顔を見ると元気をもらえる。来年も良い成績を残してまた戻ってきたい」と話していました。



▲キャッチボールの指導をする金子選手

千葉県消防操法大会優勝記念碑を建立 優勝した消防団に感動した市民が寄贈



▲消防本部前に建つ記念碑

平成19年7月、我孫子市の消防団が千葉県消防操法大会小型ポンプの部で優勝しました。その優勝に感動した市民の村田吉正さん(白山)と、飯田和行さん(緑)から優勝記念碑の寄贈がありました。(記念碑は消防本部入口に建立されています)

村田さんと飯田さんは「消防団の日ごろの活動への感謝を込めて、また今後の士気高揚に繋がることを期待し寄贈しました」と話していました。

外国人を対象に防災講座を開催 市民プラザなどで約 50 人が参加

12月、市民プラザとアピスタで、市国際交流協会(AIRA)の日本語教室に通う19カ国約50人の方を対象に、地震災害などについての講座が行われました。

講座では、阪神淡路大震災などの地震災害のビデオを見た後、大地震から身を守るために、家の中の整理整頓や水・食料の備蓄、トイレ用品の準備など、日ごろからの備えと工夫について学びました。



▲外国人を対象に市職員が説明

ようこそ地域活動 50代60代のためのインターンシップ

「体験者募集」と「体験の相談会」

「ようこそ地域活動」は、定年退職前後の50代60代の皆さんに、気軽に、さまざまな地域活動を体験していただき、その楽しさや我孫子という地域を知ってもらい、体験後は、自分に合った活動でこれまでの経験を活かしてもらおうとする事業です。



● 相談会のお知らせ ●

日時 1月18日(金)午前10時から正午・21日(月)午後2時から4時・24日(木)午後2時から4時(各日とも時間内で、ご都合のよい時にお越しください)

場所 あびこ市民活動ステーション

内容 担当職員による体験希望者向けの個別相談

※申込み不要。直接会場へお越しください。
※体験日は後日調整します。

平成20年2月末まで、市内の67団体・施設が受け入れに協力します。地域の活動を知るきっかけに、ぜひご参加ください。受け入れ先などを掲載した情報誌をご希望の方には郵送します。

※左記の相談会に出席しなくても体験は可能です。

参加費 無料(ただし、体験内容によっては実費負担あり)

申し込み・問い合わせ 電話かファクスで市民活動支援課 ☎7185-1467 FAX7185-5777

安心・美味しい野菜づくりのお手伝い

伝習農場・むそう塾 募集説明会は1月26日

むそう塾は安全で栄養価の高い野菜づくりを目指す自給菜園志望者を対象にした、いわば「農の寺子屋」です。

特色① 化学肥料、農薬を一切使わない有機農法の指導

特色② 家庭生ゴミによる手づくり肥料の作り方の指導

特色③ 粉殻燻炭の製法・作物残渣・雑草・落ち葉などを活かした手づくり堆肥の作り方の指導

特色④ 酢・焼酎・唐辛子・ニンニク・木(竹)酢液など身の回りの素材で作る殺菌効果や害虫忌避効果のある特性液の作り方の指導

特色⑤ 農具・耐久資材・堆肥などは塾が用意

特色⑥ 収穫祭・手打ちうどん・蕎麦・味噌作り講習会など

場所・施設 北新田(1区画30㎡)多目的ハウス・堆肥場・井戸・トイレ・駐車スペース

利用期間 平成20年3月1日から平成21年2月末日

対象・定員 市内在住・在勤・在学中20人程度(応募者多数の場合は抽選)

費用 1区画 月3000円(種苗・消耗資材代を除く)

◎説明会 1月26日(土)午後1時30分から3時、久寺家近隣センター、終了後現地案内
園 玉根 ☎7182-9100(午後7時から9時) Eメール uaoi@msj.biglobe.ne.jp 講義ブログ <http://musoujuku.cocolog-nifty.com/blog/>



▲実技指導の様子

あびこ植物図鑑

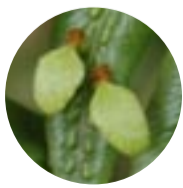
文・写真 佐久間俊行

No.245

コモチシダ

(子持羊歯)

シダ植物(ししがしら科)



▲コモチシダの不定芽(無性芽)

十月ごろ、船戸地区を訪れると、日当たりのよい南側斜面にコモチシダが生育しており、垂らした葉の表面に小さな葉状の芽をたくさんつけていました。

この植物の芽が地面に落ちて根つくと、独立した個体に成長しますが、芽は不特定な場所から生ずるので「不定芽」、また雄の生殖細胞によらずにできる「無性芽」ともいいます。

「子持羊歯」の名は、無性芽が子どもに見たてた名です。コモチシダの繁殖は、無性芽によるほか、葉の裏側にある胞子嚢群で作られた胞子によります。この場合、胞子が発芽すると前葉体と呼ばれる小さな葉状体ができ、そこに卵細胞や鞭毛を持って水中を泳ぐ精子が作られ、受精して成長すると、私たちが目にするようなシダ植物になります。

俳句

染谷卓選 島崎妙子選(青少年の部)

北風ビュビュ 枯葉のシャワー 野尻 華実(6歳)
【評】 枯葉のシャワーとは素敵な発見!木の葉を散らして北風も楽しそうですね。

定年の無聊落葉をあつめけり 中野 綾子
【評】 職を退いての退屈さに、この冬は落葉を掻き集めたりなどしているのだ。

遠目にも二峰定かに初筑波 川上 進也
散りもみぢばかりを焚ける煙かな 洪谷 多佳子
りんご挽く腕の中に八ヶ岳 小林 光江
黄落や今生の色極まれり 青山 陽子
文学碑訪ね柴又小六月 渡辺 正夫
締め直す靴ひも落葉ひひのけ 今井 岩夫

短歌・俳句の18歳以下(小・中学生、高校生ほか)の投稿も大歓迎です!



文芸だより

皆さんの投稿をお待ちしています。締め切りは、毎月20日必着。ハガキで1人1作に限ります。投稿された作品は、選者により添削する場合もありますのでご了承ください。
【青少年(18歳以下)の部】へ応募の方は、必ず年齢を明記してください。
応募先 〒270-1192 市役所広報室(住所省略可) ※氏名は必ずがなを記載してください。

新年の曙光さしるる狭庭辺に山茶花の白かがやきて咲く 新藤 道子
【評】 新年を迎える慶びを初日に輝く山茶花の白に托した。伝統的詠法である。
上の句は手くすねひきて下の句ののろま待ちをり正月三日 渡辺 詔子
【評】 年末に比べ正月の時の流れは速い。元旦に興した上の句は三日も待ち顔。
新しき年めぐり来ぬおのがじし奮ひ立たしめいぎ生きめやも 東海林 壽和
差し込める光の中に落ち葉まい山雀一羽みず浴びしおり(新かな) 秋葉 清
転がりて踊る葉多き季の境際立て走る陽当り選び 大森 澄夫
六肢もて我が手に止まる冬の蚊は叩かれもせずそつと払ひぬ 須田 博
古希となる吾を祝ひて新しきウォーキングの靴購ひぬ 石河 和子
ぜつたいに挨拶はせぬと口むすぶ爺さんに会ふ冷えるるき朝 青木 正子

短歌

榊原 敦子 選